

2023年5月11日

各位

ENEOS株式会社
株式会社パスコ

航空レーザー計測を活用した 森林由来J-クレジット創出事業における連携について

ENEOS株式会社（社長：齊藤 猛、以下「ENEOS」）と株式会社パスコ（社長：島村 秀樹、以下「パスコ」）は、航空レーザー計測^{※1}を活用した森林由来J-クレジット^{※2}創出にかかる基本合意書（以下「本合意書」）を本日締結しましたので、お知らせいたします。

両社は、ENEOSの森林由来J-クレジット創出事業に対するノウハウと、パスコの航空レーザー計測や衛星モニタリング技術を結集し、森林所有者・管理者様のクレジット創出の支援に向け、本合意書にもとづき詳細検討と準備活動を行ってまいります。この連携により、CO₂吸収量算定作業の効率化を図り、1万ヘクタール規模の広大な森林を対象とした森林由来J-クレジット創出を目指します。

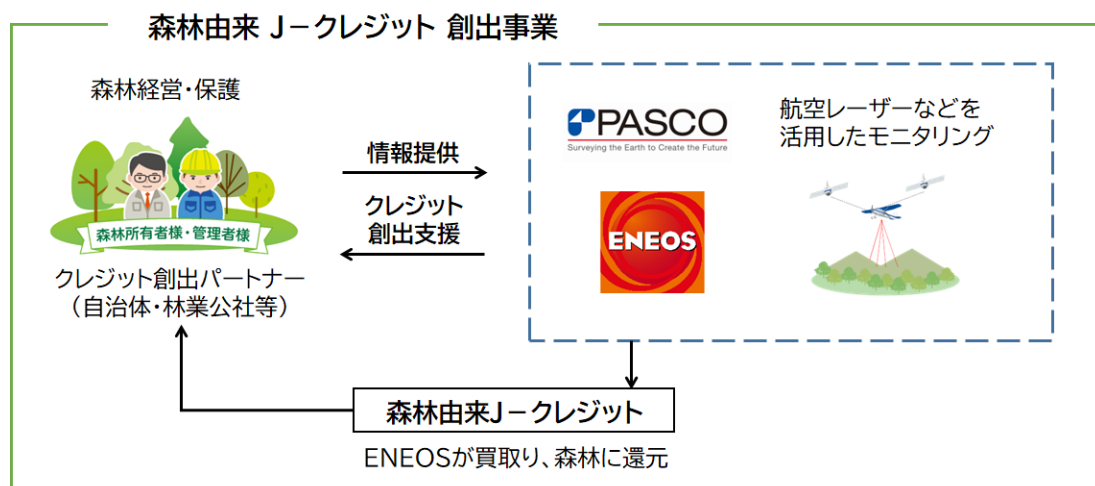
■森林に関する各社の取り組み

ENEOSは、Scope1、2^{※3}のCO₂排出量を2030年度までに2013年度対比46%削減、そして2040年度までにカーボンニュートラル実現という目標の達成に向けて、森林所有者・管理者の皆様と森林由来J-クレジットを創出し活用する取り組み^{※4}を推進しています。

パスコは、森林境界明確化や森林経営管理制度の促進など、森林の整備・管理に関する課題解決を、航空レーザー計測や人工衛星を活用したモニタリング、森林資源解析技術や空間情報処理技術を活用して支援しています。

両社は、森林由来J-クレジット創出事業を通じて、全国の森林保全の推進と脱炭素・循環型社会の形成に貢献してまいります。

<参考：連携のイメージ>



- ※1 航空レーザー計測とは、航空機から地表に向け照射したレーザーの反射情報から地表面や地物の3次元(3D)の点群データ(X, Y, Z)を取得する技術。取得した3次元データは、森林の適切な管理や森林資源量の把握など林業成長産業化と森林資源の適正な管理の両立に寄与するほか、都市計画や防災計画へ活用されている。
- ※2 J-クレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。本リリースでは、適切な森林管理によるクレジットを、森林由来J-クレジットと称する。
- ※3 Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- ※4 2022年11月25日 ENEOS公表
[「森林を活用した脱炭素社会の実現」に向けた連携協定の締結について](#)

以上

<本件に関するお問い合わせ先(報道機関の方)>

ENEOS株式会社	広報部広報グループ	03-6257-7150
		pr@eneos.com
株式会社パスコ	広報部	press@pasco.co.jp